

# 子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ)

「米野岳防災教育キャンプ」

熊本県 山鹿市教育委員会 (社会教育課)

## 【事業のポイント】

- 学校が地域の「避難場所」になったと想定
- 地域住民との共同による避難訓練（高齢者等への避難支援（避難用具の自作））
- 地域の過去の災害を学び、防災・減災の意識付けを行う
- 地域の危険箇所を住民と共同により確認・把握して（ハザードマップの作成）
- 救急救命・AED操作などの基礎を学び、緊急時の基礎知識を取得する。



心肺蘇生・心臓マッサージ

## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

事業実施の場所は、南側の急傾斜地を含む高台と北側の「菊地川」に挟まれた、洪水や土砂災害などが想定される地域であることから、地域自主防災組織等と学校を「避難所」と想定した共同の避難訓練やハザードマップの作成などを計画した。

国土交通省・陸上自衛隊・市消防本部などの公的機関の協力を得ながら、実際の場面想定で避難訓練・野外炊飯などを実施した。

### (2) ねらい

- ①学校での「避難所」体験を実施する。
- ②自主防災組織・地域住民と共同で「野外炊飯」を実施し非常時の実践力を高め、防災意識の醸成を図った。
- ③陸上自衛隊からの野外炊飯支援を受け、公的支援の体験を実施する。
- ④AED・心肺蘇生・応急担架など非常時の基礎知識を養う。

## 2. 実施概要

### (1) 地域プラットフォームの構成

- ①会場校PTA・地域区長会・地域自主防災組織・食生活改善グループ・地区民生委員会・社会福祉協議会・山鹿市(防災対策課・水道局・消防本部)・教育委員会(学校教育指導室・社会教育課)の協力のもと実施した。
- ②県立少年自然の家・日赤山鹿支部・国土交通省菊地川河川事務所・陸上自衛隊の公的機関の指導・援助を受けて、専門的知識のある方たちによる基礎的体験学習を実施した。
- ③地域自主防災組織と共同で防災体験を実施することにより、自主防災活動への理解と地域構成員であることの自覚と絆を深め、次年度以降も活動を継続できる体制づくりを目指した。

### (2) 具体的な取組の概要



☆ 給水車による給水体験



☆ AEDの操作体験

(3) 実績スケジュール	
月 日	内 容
4月11日	開催校正式決定・事前協議・日程調整
6月13日	事業実施日の変更協議・決定
8月10日	国土交通省・陸上自衛隊地方連絡部との協議・協力依頼
10月3日	第1回運営委員会
10月11日	第1回実行委員会
11月8日	第2回実行委員会
11月25～27日	米野岳防災教育キャンプ

### 3. 成果と課題

#### (1) 成果

☆別紙アンケート結果参照

参加者中すべての活動プログラムに参加した1年生のみ集計

(成果)

- ①災害時に最も大切なこと、自分の命は自分で守り、共に助け合い、公的な救助・支援を待つことを学ばせることができた。
- ②地域住民との共同による活動が実施でき、地域での絆づくりができた。
- ③仮想「避難所」で限られた空間・食料で生活する実体験ができて非常に有効な学習機会であった。
- ④公的機関・地元自治会・自主防災組織・実行委員会の協力体制の構築ができ、今後の活動に生かせる機会となった。

#### (2) 課題

- ①地域の実情に応じた、活動プログラムを作成し、実施以前に十分に協議することが必要である。特に、地域住民を巻き込んだ活動の場合、時期・日時について参加しやすい環境を設定する必要がある。また、講師等を依頼し地域の実情について語ってもらうなどの地域一体となった方策を立てる必要がある。
- ②学校を「仮想・避難所」にする場合には、学校側との事前協議を十分に実施し、役割分担の明確化と運営体制について協議しておく必要がある。
- ③参加者の安全・健康面に留意し、十分な配慮を行い、救護体制・連絡体制を確立しておく必要がある。

### 4. 地域プラットフォームの展望 (今後の方向性・取組等)

・地域と学校をつなぐとは、学校・地域が一体となって活動を実施することであり、学校行事への地域住民の積極的参加や、生徒が日常的に地域行事などに参加できるような取組を実施する必要がある。このことにより、地域の実情を把握し、絆づくりができ、生徒自身が地域構成員であることの自覚を促し、自助・共助の意識を醸成させる機会となるように取り組んでいく。

### 5. 団体プロフィール

○ 熊本県 山鹿市教育委員会 社会教育課

〒861-0592

熊本県山鹿市山鹿987番地3

TEL 0968-43-1651

FAX 0968-43-1218




会場校から望む 阿蘇の山々

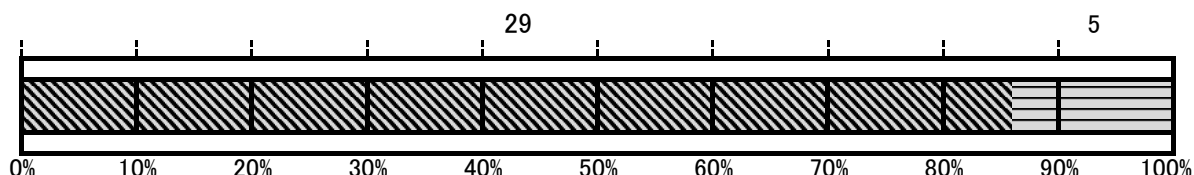
## (2)参加者の感想等・・・アンケート

回答者 米野岳中学校 1年 キャンプ参加者45名（アンケート提出34名 回答率75.55%）

☆回答表示例

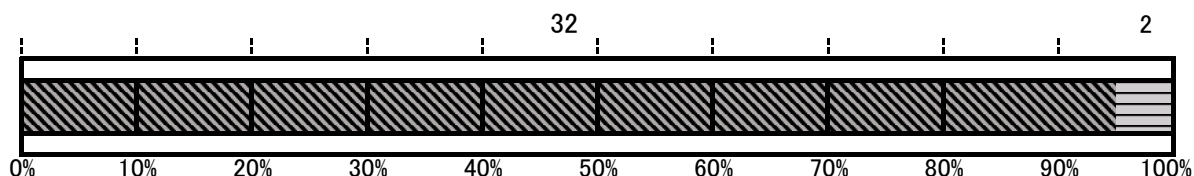
- |                              |   |                               |  |
|------------------------------|---|-------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> すごく |  | <input type="checkbox"/> まあまあ |  |
| <input type="checkbox"/> あまり |  | <input type="checkbox"/> 全然   |  |

問1 給水車からの給水(6リットル)のありがたさを感じましたか？



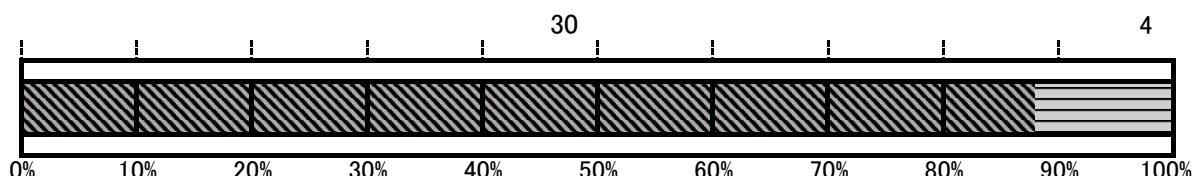
- ・2泊3日を6Lの水だけで過ごすのはとても大変なことでした。水の大切さを知りました。
- ・何気なく使っている水が、どれだけ大切かしっかり感じる事ができた。

問2 食事(夕食)で非常食を食べた経験は良かったですか？



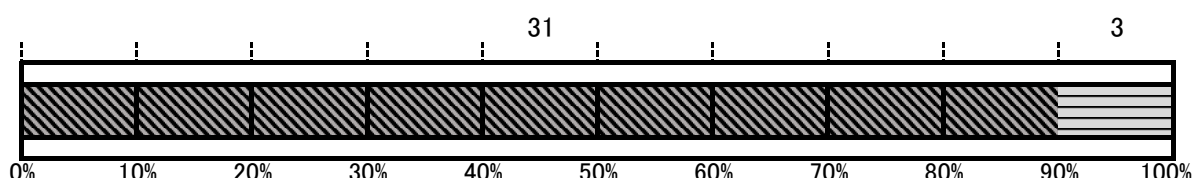
- ・普段は美味しいご飯を食べているけど、普通に食べられることに感謝しないといけないと思った。
- ・初めて非常食を食べて、日常食べているものが食べられなくなるのでつらいと思いました。

問3 非常持ち出し袋(リュックサック)に関する理解度や関心度は高まりましたか？



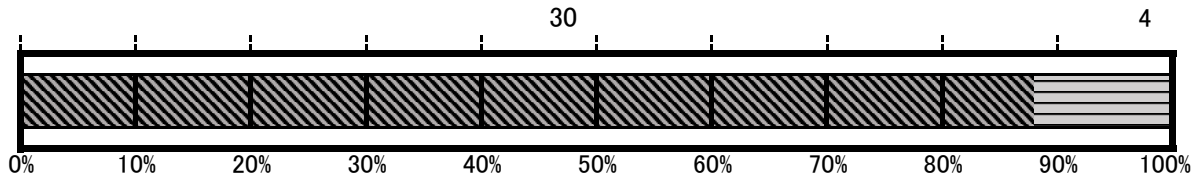
- ・3つ持っていくものが、自分なりに考えることができました。
- ・中身や置いておく場所など詳しく教えていただいたので、家でもやっておこうと思いました。

問4 火の大切さありがたさを感じましたか？



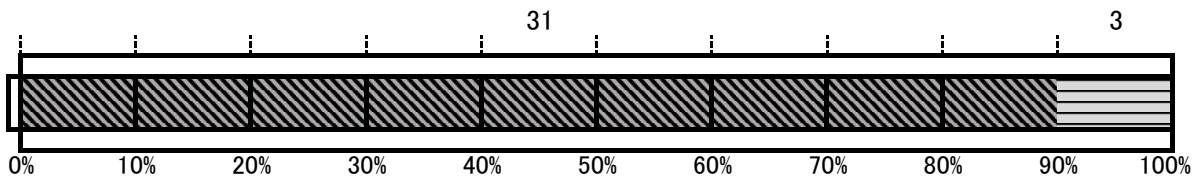
- ・日ごろ簡単に火を使っていることに感謝します。
- ・火をつけるのに苦労したけど、とても温かかったので大切だと思いました。

問5 地域に起こりえる災害の現状についてわかりましたか？



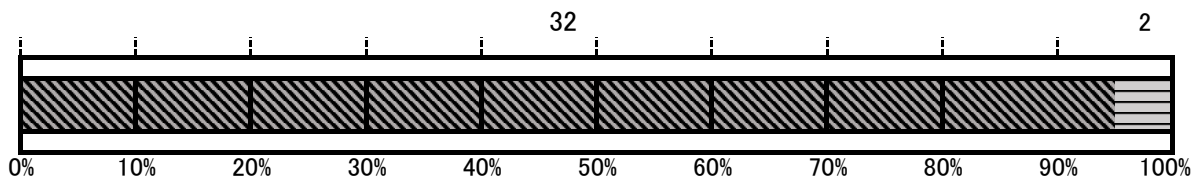
- ・土砂崩れや水害など災害がいつ起こってもおかしくないような場所が数ヶ所見つけてびっくりしました。
- ・地域を見て回って感じる事ができました。もっとしっかり知っておきたいです。

問6 危険箇所をあらかじめ予想しておくことの大切さがわかりましたか？



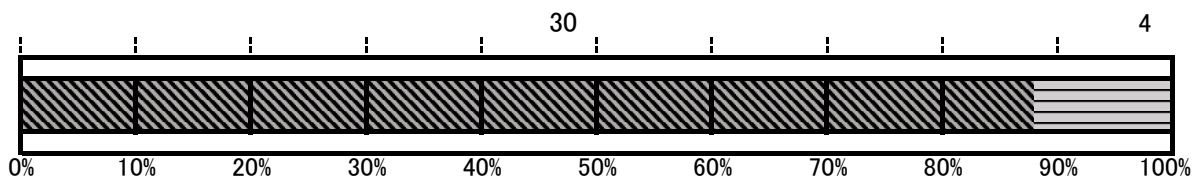
- ・みんなで危険なところを知ることができて良かったです。
- ・わかっているといざというときに、安心できるのがわかって良かったです。

問7 身近にあるものを利用して炊飯が可能であることがわかりましたか？



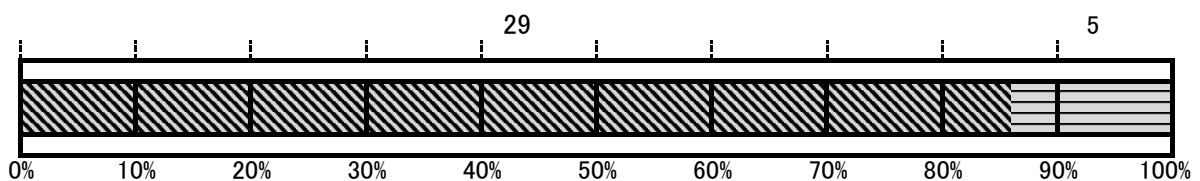
- ・できないと思っていたけど、できた時はとても感動しました。
- ・まさかアルミ缶でご飯がたけると思っていなかったので驚きました。

問8 応急処置・応急担架などの方法が理解できましたか？



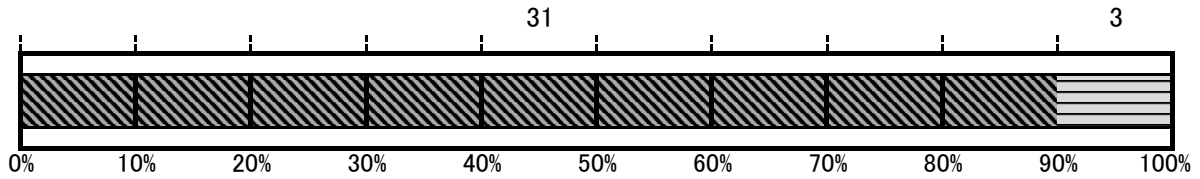
- ・身近にある毛布や竹で担架がくれたのでビックリしました。いざの時は落ち着いて作ってみます。
- ・消防署の方々に詳しく教えていただいたので理解ができました。

問9 地震の時身を守る方法が理解できましたか？



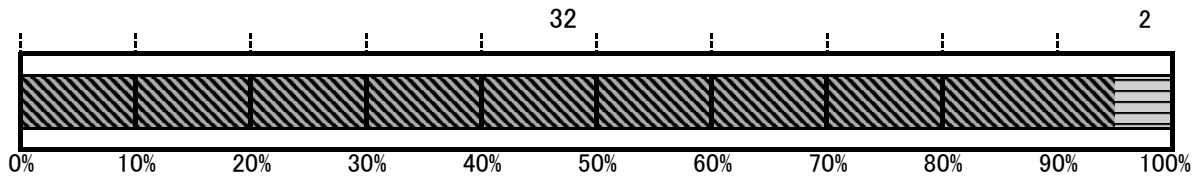
- ・震度7の揺れを体験してビックリしたのと、頭を守ることが大事だと教わった。
- ・火の始末や身を守ることの大事さを教わった。いざというときはパニックにならないように注意したい。

問10 災害ボランティアのお話を聞き将来ボランティア活動に参加しようと思いますか？



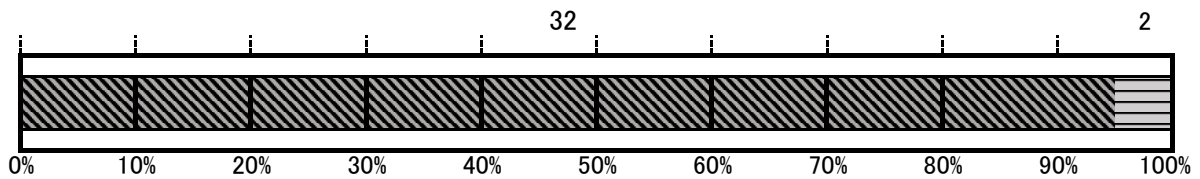
- ・人の役に立てるのは素晴らしいことだとい改めて思いました。
- ・キャンプで体験してみてももきつかったので、少しでも力になりたいと思いました。

問11 自主防災組織のお話を聞き自分の地域は自分で守る大切さがわかりましたか？



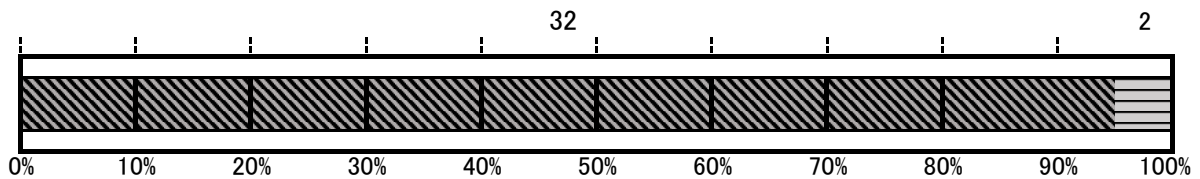
- ・やっぱり、自分の生まれ・育ったところは自分たちで守っていかなければならないと気づきました。
- ・自らが行動しなければならぬと思いました

問12 災害時に互いに協力しあうことの大切さがわかりましたか？



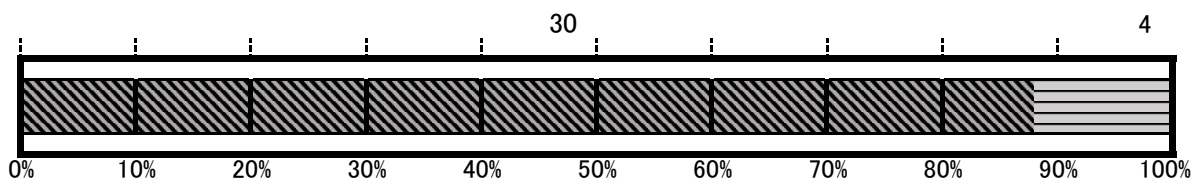
- ・協力しないと何もできないことが良くわかった。
- ・皆で協力してこのキャンプを乗り切った。協力がなかったら最後までやりとおせなかった。

問13 災害時に炊飯支援(炊き出し)は必要だと思いますか？(自衛隊から食事の提供)



- ・災害時に温かい食事が食べれて美味しかった。
- ・まともな食事が取れていなかったのも、とても身にしみて美味しかった。感謝

問14 今後このような活動があればまた参加したいですか？



- ・正直に言うと、とてもきつかったけど、とても大切だということがわかった。今度は進んで参加したい。
- ・学ぶこと・考えること・考えさせられること、などたくさん得られたのでぜひ参加したい。